

## 東北デスティネーションキャンペーン推進協議会が設立されました (2019年7月11日)

2021年4月から開催する「東北デスティネーションキャンペーン（以下、東北DC）」に向けて、7月11日に「東北デスティネーションキャンペーン推進協議会」が発足し、協議会の会長に東北観光推進機構の小縣会長が選出されました。併せて、東北DC協議会事務局が東北観光推進機構内に設置されました。東北DC推進協議会は、事業に必要な企画、運営、観光プロモーション、受入体制の整備など、東北DCを推進していくための中心的な役割を担う組織です。

東北6県で6ヵ月に渡りデスティネーションキャンペーンを開催することは初めてのこととなります。これから2021年のDC本番に向けて、東北6県が一丸となって、各県の魅力ある観光素材の磨き上げと受け入れ体制の整備を行うとともに、国内外に積極的に情報発信を行い、誘客促進に取り組んでまいります。



【会議の様子】



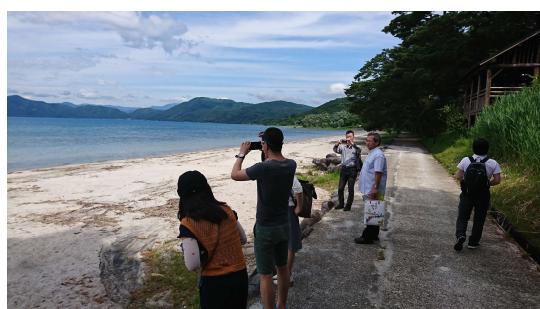
【議長を務める小縣会長】

## 中国のマラソン情報webサイト関係者を招請しました (2019年7月5日～8日)

中国では、FIT（海外個人旅行）化や「モノ消費」から「コト消費」へのシフトが急速に進行しています。また、同国内では健康ブームの一環として「マラソン」の人気も高まっています。このような状況を受け、マラソン愛好者を対象に東北の認知度向上や誘客促進を図るため、7月5日から8日にかけて、中国のマラソン情報webサイト2社2名を招請し、東北のマラソン大会の魅力や周辺の観光情報を発信しました。

被招請者からは、実際に参加した十和田湖マラソンやコースを視察した田沢湖マラソンについて、湖畔のコースが木々に覆われ、気持ちよく走ることができたことや、大会運営に中国の大会にはないおもてなし感を強く感じたこと等高い評価をいただきました。

一方で、中国から日本のマラソン大会に参加する場合、トップクラスのランナーを除くと、記録などよりも観光を兼ねて楽しみたいとのニーズが強いため、マラソン大会の魅力だけでは誘客は難しいとの指摘もあり、周辺観光地と組み合わせた効果的な情報発信や誘客を図ってまいります。



【田沢湖マラソン大会コース視察】



【十和田湖マラソン大会参加】

## 台湾のブロガーを招請しました（2019年7月9日～14日）

7月9日から14日にかけて、台湾から人気ブロガーChoyce氏を招請し、「東北の夏」に関する観光地を取材していただきました。Choyce氏は、ご自身もお子様と家族旅行をしており、多数の同世代の女性のファンがいます。このようなブロガーの方に情報発信をしていただくことで、この事業のターゲットである訪日ボリューム層の20～40代女性へ効果的に情報発信を行うことを目的としました。

招請行程は新潟県から始まり、日本海側を北上するコースを設定しました。「夏」の時期に日本海側を広域で周遊するコースを情報発信できました。

過年度事業のマーケティング調査の結果から、「グルメ」「体験」「家族と一緒に楽しむ」の要素を加えると訴求効果が高まることが判明したため、上記要素を加えた招請行程としました。



【秋田・男鹿水族館】

「グルメ」では新潟県村上地域の鮭文化、各地のカフェ巡り、「体験」では山形県村山市の居合道サムライ体験、十和田湖カヌー体験、「家族と一緒に楽しむ」では秋田県男鹿市男鹿水族館での学習体験、岩手県八幡平市サラダファームでの動物とのふれあい等を取材いただきました。

今回の取材の効果測定については、どのような層に見てもらえたか分析し、今後の施策に活かせるよう取り組んで参ります。



【新潟・鮭文化】



【山形・居合道体験】

## ワールドラグビー パシフィック・ネーションズカップ（日本対フィジー戦）の会場において、釜石市に関するアンケートや口コミ投稿を呼びかけるチラシを配布しました（2019年7月27日）

7月27日に釜石市で開催されたワールドラグビー パシフィック・ネーションズカップに合わせて、釜石鶴住居復興スタジアムや鶴住居駅周辺でアンケートとチラシの配布を行いました。アンケートは、釜石市内の観光課題を把握するために行いました。また、チラシは釜石市内の観光スポット等への口コミ投稿を呼びかけることで、WEB上での情報発信強化や観光客を増加させる目的で配布しました。

スタジアムに訪れた数多くの方々に積極的にチラシを受け取っていただけた一方で、より多くの方にアンケートや口コミ投稿にご協力いただくための課題も見つかりました。

9月・10月のラグビーワールドカップ本番でも同様の取り組みを実施するため、今回の取り組みで得られた知見を活かしつつ、岩手県を始めとする関係機関と連携しながら、より多くの観客の方々に釜石市の観光活性化にご協力いただけるよう、今後も取り組んで参ります。



## 教育旅行セミナーを開催しました

（札幌：2019年7月10日、東京：2019年7月25日）

7月10日に札幌にて、東北教育旅行セミナーを開催しました。2021年度の教育旅行を東京から東北へ誘致することを目的とし、今回は「だからこそ東北」を共通テーマに、東北6県それぞれが、現地の学校関係者や旅行会社の方々に対して東北の魅力を提案しました。参加者からは、施設の具体的受入人数についての質問や、新たな東北の発見についてのご意見があり、東北の関心が高まっていることを感じました。今後も東北での旅行実施に向け、取り組んで参ります。



【7/10 札幌会場】



【7/25 東京会場】

また、7月25日には東京にて、東北教育旅行セミナーを開催しました。東北への教育旅行訪問校数の回復が遅れている現状を鑑み、東北へ教育旅行を誘致することを目的とし、東日本大震災翌年から継続的に東北で修学旅行を実施している学校の事例発表や、東北6県+新潟県より学校関係者や旅行会社の方々に、各県の魅力を提案しました。昨年セミナーに参加し本年から東北へ旅行先を変更をされた学校の方もおり、東北への気運が高まっていることを感じました。今後も東北での旅行実施に向け、取り組んで参ります。

## 第2回フェニックス塾を開催しました（2019年7月18日）

今年度第2回となる「フェニックス塾」を福島市のザ・セレクトン福島にて開催し、37名の塾生が参加しました。

第一部セミナーでは、(株)ジェイアール東日本企画代表取締役社長原口氏をお招きし、震災後の東北の観光復興に携わった経験をもとに東北観光の今後の在り方に関するお話をいただきました。

第二部ワークショップでは、「東北に更に多くのインバウンドを誘致するには」をテーマに、グループに分かれて東北の課題についてディスカッションしました。

【第一部】セミナー

講師：原口 幸氏（株）ジェイアール東日本企画 代表取締役社長

テーマ：「東北の観光を考える 震災からの復興」

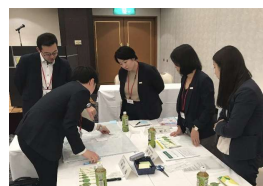
【第二部】ワークショップ

※「フェニックス塾」とは

オール東北の観点から東北の観光振興策を企画・立案する構想力と実行する行動力を持った人材を育成することを目的に、東北の観光にかかわる官、民、業種を超えた実務者層を対象に、セミナーやワークショップ等を開催している取り組みです。



【セミナー】



【ワークショップ】

## 第五回東北歴史文化講座を開催しました（2019年7月6日）

東北各県の魅力・歴史・文化などの独自性のあるテーマを掘り下げて、主に首都圏の方々に紹介する「東北歴史文化講座」を、会員企業の東日本旅客鉄道株式会社との共催で開催しております。

今回の講座の第1部では、弘前学院大学特任教諭である齊藤 利男氏を講師に迎え、「十三湊（とさみなと）から解き明かす北の中世史」と題して、中世の日本海交易における要衝として隆盛を極めた青森県の十三湊についてご講演いただきました。また、第2部では東北全体をテーマに、暮らしのクラフトゆずりは代表の田中 陽子氏から、「東北で紡がれた手しごとの物語」と題し、東北の風土や暮らしの知恵から生まれた工芸品の数々と、その美に込められた技と心についてご講演いただきました。今回も1000名近くの方々に集まりいただき、東北のより深い魅力を感じていただくことができました。



## 行政観光戦略会議を開催しました（2019年7月22日）

東北6県・新潟県・仙台市の観光担当課長クラスの方々と共に、2019年度第1四半期事業報告、2020年度東北観光復興対策交付金事業の考え方のほか、2019年度タイトップセールス事業、大連トップセールスのアフターフォロー事業、東北デスティネーションキャンペーン、相互交流拡大推進部会の取組み、ラグビーワールドカップ関連事業などについて意見交換を行いました。

各県市からは、訪日旅行者の東北への関心が高まる中、地域の受入体制の強化やクルーズ船寄港による消費額向上など、それぞれの取組み等の情報共有が行われました。また東観推からは、今後、東北全体として取り組む戦略的な展開に向けて、マーケティングデータを共有しました。

## 仙台商工会議所合同部会で紺野専務が講演しました（2019年7月19日）

宮城県仙台市で開催された仙台商工会議所不動産・小売商業・理財・交通運輸・文化観光部会合同7月定例常任委員会において、紺野専務が「仙台・東北におけるインバウンドの現状と展望」と題して、データに基づき訪東北外国人旅行者の動向等東北広域連携の現状を説明した上で、今後の東北観光の在り方について講演を行いました。



## 今後開催予定のセミナー

### 第3回フェニックス塾（第一部セミナー）

【日時】2019年9月19日（木）  
【会場】酒田勤労者福祉センター  
【内容】セミナー  
「世界に通用する魅力ある観光地域づくり  
～地域DMOの果たす役割～」  
【講師】見並 陽一氏  
(株)びゅうトラベルサービス顧問、公益財団法人 日本観光推進協会前理事長)

### 第4回フェニックス塾（第一部セミナー）

【日時】2019年10月11日（月）  
【会場】秋田市民交流プラザ  
【内容】セミナー  
「訪東北外国人旅行者による経済効果」（仮）  
【講師】新津 研一氏  
(ジャパンショッピングツーリズム協会  
代表理事/事務局長)

### 第6回 東北歴史文化講座

概要：東日本旅客鉄道(株)と共に、東北エリアの活性化を目的に東北各県に焦点を当て、東北の奥深い魅力を歴史・文化等の独自性のあるテーマを掘り下げて紹介する歴史文化講座。

1部「山形県」北の関ヶ原合戦と上杉家の思惑～天下分け目の決戦は奥羽で始まった～

2部「東北」芹沢銈介が残した東北の美～型絵染の人間国宝と「民藝」の世界

【日時】2019年9月28日（土） 1部 13:00～ 2部 16:30～

【会場】ベルサール秋葉原

【詳細・申込】どなたでもご聴講できます（有料）

<https://www.jreast.co.jp/tohokurekishi/?src=rec>



## 今後出展予定の海外旅行博、開催予定の海外イベント

・タイトップセールス事業：2019年8月27日（火）

## 訪日外国人旅行者の口コミを収集する取り組みにご協力をお願いします！

近年、個人旅行化や情報収集・予約購入のデジタル化が進み、旅行先の決定には口コミが大きな影響力を持っています。特に、口コミの蓄積数や内容を見て行き先を決めるといった外国人旅行者が増加しています。

しかし、東北においてはトリップアドバイザーにおける外国語口コミ数が**日本全体の1%程度**と、圧倒的に少ない状況にあるため、地域が一体となって口コミを収集していく必要があります。

口コミ数を増やすには、口コミ投稿型サイトへの施設の基本情報の登録（「管理者（オーナー）登録」）や外国人旅行者の来訪時に口コミの投稿を呼びかけるなど、観光関係事業者の皆様のご協力が不可欠です。

より一層東北への集客を図るため、ご協力をお願いします

● 口コミサイトへの「管理者（オーナー）登録」のススメ & 【トリップアドバイザー】のオーナー登録手順

<https://member.tohokukanko.jp/wp-content/uploads/2019/01/tripadvisor.pdf>

● 中華系口コミサイト【大眾点評】登録サポート（無料）のお知らせ

<https://member.tohokukanko.jp/wp-content/uploads/2018/10/dianpin-support.pdf>



## 東北観光推進機構が提供するサービスをぜひご活用ください！

**多言語電話通訳サービス** 外国人旅行者とうまくコミュニケーションが取れない場合などに、コールセンターのオペレーターが電話を介して通訳を行うサービスです。

【対象】東北6県および新潟県の観光関係事業者  
※ただし、大型小売店、医療機関は対象外

【対応言語】日本語⇄英語・中国語・韓国語

【利用時間】24時間365日対応

【利用料金】無料 ※ただし、通話料金は利用者負担

【サービス受託事業者】株式会社テレコメディア

【申込】お電話またはFAXでお問い合わせください。  
申込書をお送りします。



「旅東北NEWS」VOL.011 2019年8月15日発行  
【発行】一般社団法人東北観光推進機構  
仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階  
【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293  
【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！